

(1) 伊勢湾海上交通センター所長 殿
(通報の名あて)

船長の氏名 ○○ ○○

○○海運○○支店支店長○○○○

提出者の氏名及び連絡先 ○○市○○区○○町○○番地 電話○○○(○○)○○○○

海上交通安全法第22条の規定により、下記のとおり通報します。

(2) 船舶の名称及び総トン数	フリガナ ○○○○ ○○○丸	○○,○○○トン
(3) 船舶の長さ	船舶の全長	○○○.○○メートル
(4) 最大喫水		○.○○メートル
(5) 危険物の種類及び数量	原油 ○○,○○○トン	
(6) えい(押)航全長	260.00メートル	
(7) えい(押)航物件の概要	台船(フローティングクレーン 縦35×横30×高さ20)	
(8) 仕向港	仕向港名 ○○港	係留施設名
	(仕出港名) ○○港	(係留施設名)
(9) 航路名(区間)	伊良湖水道航路 (北航・南航)	から 入る日時 5月 1日 04時 30分
(10) 航路入航予定時刻	まで	出る日時 5月 1日 04時 45分
(11) 航路出航予定時刻	航路	から 入る日時 月 日 時 分
	航路	まで 出る日時 月 日 時 分
	航路	から 入る日時 月 日 時 分
	航路	まで 出る日時 月 日 時 分
(12) 呼出符号又は呼出名称	J○○○ ○○○○マル	
(13) 海上保安庁との連絡手段	船舶電話 090-○○○-○○○○ MMSI 431000000	
(14) 伝達者の氏名又は名称、住所、電話番号、ファクシミリ番号等	○○海運○○支店 担当 ○○課○○○○ ○○市○○区○○町○○番地 電話 052-000-0000	代理店コード ○○
(15) 水先人の手配	有・無	
(16) 特別消防設備船の待機配置	記載不要	
(17) その他	夜間連絡先 090-○○○-○○○○ 担当 ○○	

受付番号 ※	/	ID番号 ※	入力 ※	確認 ※
-----------	---	-----------	---------	---------

注

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 「巨大船」とは、海上交通安全法（以下「法」という。）第2条第2項第2号の船舶をいう。
- 3 「準巨大船」とは、法第22条第2号の船舶をいう。
- 4 「危険物積載船」とは、法第22条第3号の船舶をいう。
- 5 「物件えい航船等」とは、法第22条第4号の船舶をいう。
- 6 この様式は、巨大船、準巨大船、危険物積載船又は物件えい航船等が、東京湾、伊勢湾、大阪湾、備讃瀬戸又は来島海峡海上交通センターに対し航路通報（法第22条に定める巨大船等の航行に関する通報をいう。以下同じ。）を行う際に用いる様式とする。
- 7 (4)の最大喫水は、巨大船に限り記載することとし、小数点以下二けたまで記載すること。
- 8 (5)の危険物の種類及び数量には、危険物積載船に限り記載することとし、積載している危険物（海上交通安全法施行規則第11条第1項各号に掲げる危険物をいう。）の種類及び種類ごとの数量（トンによるものとする。）を記載すること。なお、当該危険物の国連番号が判明していれば併せて記載すること。
- 9 (6)のえい（押）航全長には、物件えい航船等に限り記載することとし、引き船の船首から物件の後端まで又は押し船の船尾から物件の先端までの距離を記載すること。
- 10 (7)のえい（押）航物件の概要には、物件えい航船等に限り記載することとし、物件の種類、長さ、最大幅、最大の高さ等を記載すること。
- 11 (8)の仕向港には、仕向港の定まっている場合に限り記載することとし、仕向港の名称のほか、仕出港の名称（外国の場合はその外国の名称。）をそれぞれ記載すること。
なお、港則法第38条第3項各号に掲げる船舶は、仕向港又は仕出港それぞれの係留施設の名称も併せて記載することで、同条第2項の規定による通報を要しない。
- 12 (9)の航路名（区間）には、航行しようとする航路の区間を、「全区間」、「南口から4番ブイまで」のように記載すること。なお、二以上の航路を連続して航行しようとするときは、航行しようとする航路の順序に従って記載すること。（以下第13号及び第14号において同じ。）
- 13 (10)の航路入航時刻及び(11)の航路出航時刻には、航路外から航路に入ろうとする時刻及び航路から航路外に出ようとする時刻をそれぞれ24時制により記載すること。
- 14 法第2条第1項の航路を航行しようとする船舶で、港則法第38条第3項各号に掲げるものが、その前後に連続して港則法第38条第1項に規定する水路を航行しようとする場合は、(9)から(11)までに当該水路の区間、水路外から水路に入ろうとする時刻及び水路から水路外に出ようとする時刻を記載すること。
- 15 (12)の呼出符号又は呼出名称には、船舶局のある船舶に限り記載することとし、船舶の呼出符号又は呼出名称を記載すること。
- 16 (13)の海上保安庁との連絡手段には、船舶電話番号、MMSI番号、その他海上保安庁と連絡が取れる手段を記載すること。
- 17 (14)の伝達者の氏名又は名称、住所、電話番号、ファクシミリ番号等には、当該情報のほか、船舶代理店と契約がある場合は代理店コードを記載すること。
- 18 (15)の水先人の手配には、水先人の手配の有無を記載すること。
- 19 (16)の特別消防設備船の待機配置には、特別消防設備船（進路を警戒する船舶、消防設備を備えている船舶又は側方を警戒する船舶の配備を指示する場合における指示の内容に関する基準を定める告示（昭和51年海上保安庁告示第29号。）第2条第6項に定める泡式特別消防設備船及び粉末式特別消防設備船をいう。）の待機配置（同条第7項に定める待機配置をいう。）の有無を記載すること。
- 20 (17)のその他には、担当する海上交通センターあて連絡が必要な事項を記載すること。
- 21 ※は航路通報受理欄であり、記入を要さない。

「ファクシミリで航路通報を行う際は、表面のみを送付して下さい。」

上記11項目の注釈について、伊良湖水道航路の航路通報では、仕向港及び仕出港の係留施設の名称を記載した場合でも、港則法に基づく通報(事前通報)を省略することはできませんので注意して下さい。